

計画を策定してまいります。

また、地震・津波災害を想定した住民参加型の訓練を実施し、避難意識の向上を図るとともに、避難経路の確認や情報伝達、避難態勢の検証を行ってまいります。

脱炭素に向けた取り組み

脱炭素事業に向けた取り組みにつきましては、日高町地球温暖化対策実行計画に基づき、職員一人ひとりが温暖化対策の重要性を認識するため、研修会など積極的に参加してまいります。

また、各施設のエネルギー使用量を把握し、照明機器のLED化やエネルギー効率の高い設備の導入などを推進してまいります。

自治体DX

自治体DX（デジタル化）に関する取り組みですが、本年度、全庁的なDX推進の取り組みを進めていくための組織体制を整備し、全庁的にDXを推進するための全体方針を決定することとし、デジタル技術の活用により、一人ひとりが希望に添ったサービスを選べ、利便性と快適性の向上を目指すとともに、事務・業務の効率化など業務改革に取り組んでまいります。

◎持続可能な行財政運営

行政運営

行政運営につきましては、コロナ禍に加えて、ロシアのウクライナ侵攻に端を発した物価高騰により不透明な財政状況が続くと想定されます。当町においては、多くの公共施設の老朽化が進み今後の更新などが見込まれていますが、必要な住民サービスを将来にわ

たって安定的に提供していかなくてはなりません。限られた財源で持続可能な財政運営を行うため、各種施策や事業について目的や費用対効果を検証し、公共性や緊急性、必要性を精査した優先順位付けを行うなど、効率的な行政運営に努めてまいります。

予算案の概要

令和5年度の予算編成につきましては、国の令和5年度地方財政計画では、地方税及び地方交付税が増加すると見込む一方、臨時財政対策債を減少させ、交付ベースの一般財源総額を令和4年度と比較し増と見込んでいるため、令和5年度日高町一般会計予算の一般財源を令和4年度より増額で計上しております。

当町におきましては、幼児教育・保育の無償化、学校給食無償化事業の継続、燃料費及び物価高騰等により歳出予算の抑制が難しい状況ではありますが、各会計の予算編成は、限られた財源のもと財政の健全化を念頭に置きながら、第2次日高町総合振興計画の目指す将来像実現に向けた様々な施策や事業を盛り込んだところであります。

一般会計の予算規模につきましては、認定こども園施設整備事業が減少したものの、継続事業として富川市街地活性化事業、アイヌ政策推進交付金事業、とねっこの湯改修事業及び町道整備事業、また、新規事業として都市計画マスタープラン策定事業などを予算計上したことにより、歳出総額が110億円となりました。前年度当初の骨格予算との比較では9.3%増、令和4年6月補正後の肉付け予算とは、ほぼ同額の予

算となりました。

むすび

以上、令和5年度の町政執行に臨む、私の所信を述べさせていただきました。

3年が経過した新型コロナウイルス感染症のほか、ロシアのウクライナ侵略や中国の海洋進出に伴う財政問題を包含した防衛論議など、国内問題のみならず国際情勢が私たちの生活に大きく影響する時代となりました。

こうした状況は、当然に地方自治体の運営にも多大な影響を及ぼしていますが、そうした中でも決して針路を見失うことなく、私の姿勢として掲げている「町を元気に」という目標を実現するため、さらに鋭意努力し、町政運営に取り組んでまいります。

町民の皆様、議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



教育行政の基本姿勢

令和5年日高町議会3月会議の開催にあたりまして、日高町教育委員会所管行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

新型コロナウイルスは、変異を繰り返し感染拡大の波を繰り返しております。学校においては、今後も感染拡大のリスクを可能な限り低減させ、子どもたちの学びを保障するための取組を進めていかなければなりません。コロナウイルスとの共存という大変厳しい状況が続いておりますが、日高町教育大綱に則り、ふるさと日高町への愛着を持ち「豊かな心を育む教育、文化のまちづくり」を充実させる教育行政に取り組んでまいります。

以下、学校教育、社会教育の順に、推進の基本方針と主な施策を申し上げます。はじめに学校教育から申し上げます。

学校教育

学校教育には、子どもたちがこれからの時代に求められる資質・能力を身に付け、予測不能な社会を生きる力を育むことが求められています。

そのためには、学校・家庭・地域・行政が一体となった取組を推進し、子どもたちが自立し社会で活躍するために必要な力をしっかり

令和5年度 教育行政執行方針

令和5年3月8日、町議会3月会議が開催され、武田啓嗣教育長が新年度の教育行政執行方針を発表しました。

り身に付けることができるよう、支援してまいります。

確かな学力を育成する教育の充実

日高町の子どもたちの全国学力・学習状況調査や標準学力検査（CRT）の結果では、全国平均を超える教科もあり改善傾向が見られますが、引き続き学力向上に向けた取組が重要であります。

そのためには、「日高町学力向上3年次計画」を継続し、子ども一人ひとりの学びの過程を重視した授業を展開します。そして、主体的・対話的で深い学びの視点から授業を改善し、子どもたちが自ら考え主体的に取り組み、よりよく課題を解決していく「考える教育」を推進してまいります。

1人1台端末については、今後も積極的かつ効果的な利用を促進し、AIドリルをはじめとする様々な学習機能を有効活用させ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図ってまいります。

あわせて、子どもたちがタブレット端末を家に持ち帰り、家庭の協力を得ながら学習が行えるよう取り組んでまいります。そして、臨時休業等の非常時であっても学習に著しい遅れが生じることのないようICTを活用した学びを止めない取組を推進してまいります。

深く的確な思考力や判断力、豊かな表現力を育むためには、じっくりと活字に向き合う体験も欠かせません。そこで、読書の啓発や図書室の有効利用を行うとともに、家庭や地域と連携しながら読書習慣の定着を図ってまいります。



豊かな心を育む教育の充実

子どもたちには、将来に対する夢や希望、自らの人生や未来を切り拓いていく力など、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことが求められています。

そのためには、家庭や地域と連動した体験的な学習活動や考え議論する道徳教育を充実させ、一人ひとりの道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てていきます。

あわせて、学校生活における子どもたちへの「賞賛」と「激励」を通し、「自分には、よいところがある」と言った自己肯定感を高め自尊感情を育てていきます。

また、規範意識や思いやりの心を育むとともに、いじめを絶対に許さない学校体制づくりを推進し